

内航RORO船モーダルシフト促進事業

協議会名：宮崎県ポートセールス協議会

協議会構成員

宮崎県、八興運輸株式会社、マルエーフェリー株式会社、旭化成株式会社

【事業実施背景】

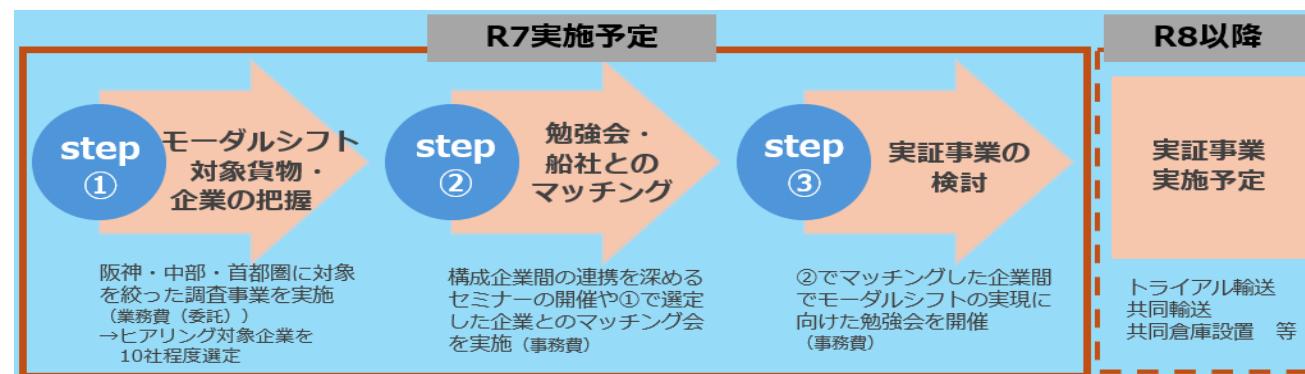
- ・本県内では、生産年齢人口の減少と物流業界の働き方改革の影響により、人手不足や就業可能時間の減少などの慢性的な課題を抱えている。
- ・宮崎県着のRORO船の下り荷積載率は低い一方で、「他地域発・九州着」のモーダルシフト化率は、他地域よりも高い傾向にある。また、「京浜・中京～九州北部間」のRORO船積載率は高い。

→ 九州北部着の航路で輸送できていないモーダルシフト可能な潜在貨物があるのではないか？

事業内容



- ・九州北部着の航路で輸送できていない、阪神・中京・首都圏のモーダルシフト可能な潜在貨物の調査・分析を行う。
- ・上記の潜在貨物を持つ荷主又は物流事業者と県内企業とのマッチング会等を開催する。



想定事業実施効果

【潜在貨物を持つ荷主・物流事業者(調査対象企業)の掘り起こし件数】 10件

【調査対象企業へのヒアリング件数】 10件

【調査対象企業と県内企業とのマッチング件数】 5件

次年度以降の実証事業の検討も合わせて行い、本県のみならず、国内物流の効率化・モーダルシフト化を促進する効果が見込まれる。